

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	地域おこし協力隊活用事業							事業コード	020110202401					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施 策 名	1 良質な住宅ストックの形成と移住促進						施策コード	131					
事業担当	所属	020300 市民生活部まちづくり推進課					所属長	片岡 まり子						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	83	頁
計画期間	開始年度	令和6年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一			R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市地域おこし協力隊員設置要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☒ その他 (国制度に基づく特別交付税措置)													
関連事業	移住・定住促進事業													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 コロナ禍以降、人々の価値観や働き方が多様化している。総務省のデータにおいて、地域おこし協力隊員の約7割が20～30代とあるように、若い世代を中心に地方で自己実現や挑戦をしたいという動きがある。				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域活性化に取り組む地域団体の現在のメンバーでは取り組むことができない活動を地域おこし協力隊員と共に活動を進めていく。				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 本市の移住施策として、地域活性化に取り組む地域団体において地域おこし協力隊員を受け入れ、地域で活動する「新しい風」となる人材を呼び込むことで、移住者の増加を図り、持続可能な地域づくりにつなげる。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること (1)地域おこし協力隊員の活動に係る経費の支援 (2)地域おこし協力隊受入候補団体ヒアリングの実施 (3)地域おこし協力隊員向け研修の実施				
対象者	市民	対象者数	74,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算 情報	① 当初予算		0		16,343		19,466			0
	② 補正予算		0		△ 8,201		0			0
	③ 繰越予算		0		0		0			0
	前年度繰越		0		0		0			0
	次年度繰越		0		0		0			0
小計(①～③)			0		8,142		19,466			0
予算 財源 内訳	① 一般財源		0		8,142		19,466			0
	② 国支出金		0		0		0			0
	③ 府支出金		0		0		0			0
	④ 地方債		0		0		0			0
	⑤ その他特財		0		0		0			0
決算 情報	① 流充用額		0		0					
	② 配当予算		0		8,142					
	③ 執行額		0		7,310					
	④ 執行率				89.8%					
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員/全庁年度任用職員)	0.00	/	0.00	1.25	/	0.00	/		
	② 概算人件費		0		10,000					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)			0		17,310					
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称			種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	-	-	-			
		目標値		-	-	-	-	2	
	任期満了後の累計定住人数		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	-	-	1			
	地域おこし協力隊活動報告会の実施								
		当初見込		0	0	0	1	1	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	隊員、受入団体、市による3者ミーティングの実施。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	【課題】 ・任期終了後(3年後)を見据えた起業支援 ・3者(隊員、受入団体、市)における活動の方向性のすり合わせ ・隊員の受け入れを希望する地域団体への制度周知と発掘								
現状の課題 に対する 改善策	・各隊員に対し、月1回の3者ミーティング(市、受入団体、隊員)や研修(年1回程度)を実施し、ミスマッチを防ぐための支援を継続していく。 ・隊員の活動状況について、受入団体と連携しながら、市民や隊員の受け入れを希望する地域団体等に対し報告会などを通じて周知を行う。 ・隊員を継続的に受け入れるために、令和8年度の隊員採用に向けて受入候補団体の支援をしていく。 ・移住者による起業の機運醸成を図るセミナー等を通じて、隊員自身に任期終了後を考えていただくきっかけとする。								